

③ 《2017年度入学生に適用》

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	履修方法	
教養科目	基礎科目群	英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB、初級独語A・B・C・D、初級仏語A・B・C・D、初級中国語A・B・C・D、初級韓国語A・B・C・D 各①	英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB、 応用英語A・B・C・D、 応用独語A・B・C・D、 応用仏語A・B・C・D、 応用中国語A・B・C・D、 応用韓国語A・B・C・D 各①			同一外国語科目を8単位必修 ※英語については2年次配当の応用英語A・B・C・Dは8単位に含めないで注意すること。	
		論述・作文A、論述・作文B 各②				履修必修	
		コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②	コンピュータ応用A、コンピュータ応用B、コンピュータ応用C、コンピュータ応用D 各②			「コンピュータ基礎A・B」は履修必修	
		日本語A、日本語B、日本語C、日本語D、応用日本語A、応用日本語B 各①				※日本語A・B・C・D、応用日本語A、Bは外国人留学生だけが履修できる。	
	人文・社会・健康・自然科目群	哲学、倫理学、宗教学、生命と環境の倫理、日本史、日本近代史、日本史概説、北海道史、アジア史、東洋史概説、欧米史、西洋史概説、中東イスラム史、地誌学概説、人文地理学概説、映像文化、世界の民族音楽、東洋の美術、ヨーロッパの美術、人間の言語のしくみ、世界の言語と日本語、言語と社会、言語文化論、言語と数理、日本文学、外国文学、現代と法、日本国憲法、人権論、法学概説、くらしと現代経済、経済学概説、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、文化人類学、日本事情A、日本事情B、アジア事情A、アジア事情B、教育学、現代の福祉、現代と情報、心理学、健康科学、心理学概説、スポーツと健康、スポーツA、統計学、物理学、地学、地球の科学、自然地理学概説、生命科学、生物進化、生態学、北海道の生物、環境論、日本語を教えるA、日本語を教えるB 各②				6単位以上選択必修 ※外国人留学生は「日本事情A・B」を指定必修とする (この科目は外国人留学生だけが履修できる)	
			スポーツB ②				
	総合科目群	キャリア	キャリア数学A①、職業と人生Ⅰ②	キャリア数学B①、職業と人生Ⅱ②	キャリア数学C①、職業と人生Ⅲ②、職業と人生Ⅳ②		
				企業の経営と仕事 ②			
		総合	教養ゼミナールA、教養ゼミナールB 各②				
			全学共通特別演習A、全学共通特別演習B 各②	全学共通特別演習C、全学共通特別演習D 各②			
グローバル科目群		異文化グループワークA、異文化グループワークB、プロジェクトマネジメント入門、TOEICトレーニングA、TOEICトレーニングB 各②					
			TOEICトレーニングC、TOEICトレーニングD、海外スタディⅠ、海外スタディⅡ、グローバルインターンシップⅠ、グローバルインターンシップⅡ、グローバルボランティアⅠ、グローバルボランティアⅡ 各②				
計					教養科目計 24単位以上		
区分		1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目	基幹科目群	人間科学基礎ゼミナールA、人間科学基礎ゼミナールB 各②	人間科学基礎ゼミナールC ②	専門ゼミナールA 各② 専門ゼミナールB	卒業論文 ⑥	7科目18単位必修	
		障害学 ②					
	基本科目群	講義科目	人間科学と倫理、人権思想史、現代社会論、生活構造論A、生活構造論B、社会福祉論A、社会福祉論B、発達心理学A、発達心理学B、子どもの権利と教育、現代学習論、日本社会史A、日本社会史B、考古学A、考古学B、民俗学A、民俗学B 各②				講義科目から10単位以上選択必修
			哲学的人間学 ②				
			人間論特殊講義 ②				
	研究法・実習科目		社会調査法 ②、フィールドワーク ④				研究法・実習科目から2単位以上選択必修
			野外環境演習、心理学研究法A(実験・調査法)、心理学研究法B(心理統計法)、心理学実験実習Ⅰ、心理学実験実習Ⅱ、考古学研究法、歴史学研究法、民俗学研究法 各②		考古学実習 ②		
	領域科目群	社会領域	ジェンダーの社会学、社会的人間論 各②				
				地域社会学、家族社会学、産業社会学、教育社会学、マスメディア論 各②			
		福祉領域		社会保障論A、社会保障論B、障害者福祉論、高齢者福祉論A、高齢者福祉論B、児童福祉論、児童福祉特論、司法福祉論、公的扶助論、地域福祉論A、地域福祉論B、医療福祉論 各②			
障害児病理学 ②							
心理・教育領域		認知心理学 ②	パーソナリティ論(人格理論)、教育心理学A、教育心理学B、精神医学、精神医学概論 各②				
			健康教育概論、社会心理学A、社会心理学B、教育課程論(特別活動の指導法を含む。)、教育方法論、教育学特殊講義A、教育学特殊講義B、知的障害者の心理学、知的障害者の生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、発達障害教育論、視覚障害教育総論、聴覚障害教育総論、重複障害教育総論、言語障害教育論、心理学特殊講義A、心理学特殊講義B、障害児・者教育論 各②				
		特別支援教育総論、特別支援教育各論Ⅰ(コーディネーター論)、特別支援教育各論Ⅱ(IEP論) 各②					
文化領域		文化史概説、アイヌ史、北海道史研究A、北海道史研究B 各②					
		アジア社会史 ②					
			英米社会研究A、英米社会研究B 各②				
思想領域		口頭史口頭文芸論、文化動態論、地域文化史、文化財概論、北方の歴史・文化、文化史の諸問題 各②					
		生命倫理学、環境倫理学、現代思想A、現代思想B、日本思想論、人間と文学、人間と宗教 各②					
自由選択科目群		視聴覚教育メディア論、博物館概論、博物館教育論、博物館情報・メディア論、相談援助の基盤と専門職Ⅰ 各②		就労支援の方法②、権利擁護と成年後見制度②、福祉行財政と福祉計画②、福祉運営管理論②、医学一般②、社会福祉演習Ⅱ④、社会福祉実習⑥、社会福祉実習指導③、特別支援教育実習③			
		生涯学習概論A②、生涯学習概論B②、精神保健の課題と支援④、精神保健福祉に関する制度とサービス④、精神障害者の生活支援システム②、社会福祉演習Ⅰ④、ソーシャルワーク総論A②、ソーシャルワーク総論B②、ソーシャルワークの方法A②、ソーシャルワークの方法B②、相談援助の基盤と専門職Ⅱ②			社会福祉演習Ⅲ ②		
		知的障害教育Ⅰ、知的障害教育Ⅱ、肢体不自由教育Ⅰ、肢体不自由教育Ⅱ、病弱教育 各②					
計					専門科目計 80単位以上		
合計					124単位以上(※注1)		

注1:人間科学科の卒業要件は、教養科目24単位以上+専門科目80単位以上(十教養科目または専門科目から20単位以上)=124単位以上の修得となります。

注2:他学部他学科授業科目の単位を修得した場合、別に定める区分に従い、教養科目として8単位(教養科目群から修得すべき最低修得単位数からは除く)、専門科目として24単位を上限に課程修了の要件に加算します。

注3:科目名に続く○内の数字は単位数を表します。